



平成24年11月15日



## まつかわ百景 ⑥⑥

### 「松川高校前の壁画」

「生命の誕生」をテーマに、昨年8月から取り組んできた壁画(約30m)が完成を迎えた。この絵は、松川高校美術部が中心となりながら、「住民の憩いの場にしたい」という高校生の思いに共感したやまなみ美術会、公民館本館社会部も一緒に活動を進めてきた。

2〜3面 松川の自然を探す旅  
 上片桐編  
 第28回松川町駅伝大会  
 みんなで仲良く  
 青年の家だより  
 スポーツ・情報  
 全国短歌フォーラム最優秀賞  
 こどもの詩・俳句・短歌  
 視点・東北支援・べんべん草

『りんご作りに思いを込めて 美味しいりんごで 夢叶うまで』をメインテーマに10月23日(火)午後我が松川町を会場に全国ミニりんご大会が開催されました。この大会は、りんご「ふじ」の栽培技術向上を目的とし交流を行って全国のりんご生産者が、各県の現状を視察し、互いの意識高揚を図ることを目的に開催されている。

「香りと味は世界に誇るりんご」ふじに皆に植えさせ国を賞さんりんご産業に携わった多くの先人の方々の思いでふじが生まれ70年あまりたった今日も更に進化を続けています。その中でもふじは、味で選ばれた品種であり、味を第一に考え、剪定で美味いふじ栽培を実践されてこられた師匠を始めとして山形県(東根・長井・天童・南陽)長野県(平穂・中野)群馬県(沼田・川場)茨城県(大子町)より諸先輩方々を招いての大会となった。歴史ある産地の皆様に指導をいただいて17年あまり、覚えの悪い弟子達の現状(惨状)を披露することとなった訳です。

師匠は「我々の仕事は結果がすべてだよ」と言われます。忙しい時期ではあるがその中で秋の収穫間近の果樹園に赴く

## 主張

りんご作りに思いを込めて  
美味しいりんごで夢叶うまで

事でありんごはもちろりんごの樹の姿などが一目瞭然です。松川町内の視察5園地園主はもちろん参加された地元関係者にとっても夫々の状態を厳しい目で評価をいただき課題を見出してもらおう絶好の機会となりました。(園主の皆様心臓バクバクであったかと・推測)

昨年秋の収穫から始まり冬の剪定。春の受粉・果そう摘果と一果にする摘果・夏管理・仕上げの摘果。9月中旬からの葉取り・10月からの葉こぎ、など適期に管理を終え、良い花の芽を作るため(良いりんごが成る花芽)に仕事を進めてきました。その結果を多くの生産者の目で確認いただき進むべき道を示していただけました。この地域で思いを共有するすべての生産者と共に品質の向上と安定生産に向け、互いに切磋琢磨してまいりたいと決意を新たに取組むしだいであります。

主要りんご産地の南限である地の利に埋もれることなく一個でも多くの美味しいりんごが実ること、この果樹産業に携わる多くの仲間と励み語らいながら、人づくりの輪が広がることを願うしだいであります。

全国ミニりんご大会実行委員長  
米山 春彦

# 松川の自然を探す旅

## ～上片桐編～



すっかり秋らしい陽気の中  
9月号で特集した「まだまだ  
知らない松川の自然を探す旅」  
の第2編として、前回案内し  
ていただいた木下進さんと一  
緒に編集部で上片桐地区を訪  
ねました。今回も、松川の豊  
かな自然と壮大な自然のロマ  
ンを感じる素敵な旅となりま  
した。

**万葉集にも  
うたわれている  
カジカガエル**

初夏、5月中旬から8月上  
旬にかけて、片桐松川のそこ  
かしこから「ヒュル、ヒュルル  
ル」：「フイーヨ、フイーヨ、  
フイーヨ」と、川の瀬のど  
こからともなく鳴き声が聞こ  
えてきます。



どこことなく寂しく、もの悲  
しく聞こえる美しい鳴き声の  
主がカエルだったとは!!

カエルと聞くと、田んぼに  
生息しているイメージですが  
松川にも生息している事を知  
り驚きました。

松川の岩の上や岩陰を眼を  
こらして探してみると岩に溶  
け込むようにして張り付く、  
小さな灰色の地味なカエルが  
カジカガエル(河鹿蛙)です。  
カジカガエルは、片桐松  
川・小渋川・天竜川・間沢川  
など空の広くみえる川に生息



美しい鳴き声のカジカガエル

しており、流れの急な場所  
でも生活できるように、他のカ  
エルより吸盤が発達していま  
す。

また、奈良時代には貴族た  
ちが美しい鳴き声に惹かれて  
飼育していた記録もあり、万  
葉集にはカジカガエルの登場  
する歌が、幾つかあります。

河鹿鳴く甘南備川に影見えて  
今か咲くらむ山吹の花

### 上片桐の台地の源 小八郎麓から 山堤周辺

松川高校西の信号を西に進  
みどんだん山に入っていくと、  
植林され手の入った林の中に  
水をたたえた山堤が現れます。  
周辺には大きな川もないこの  
堤の水源は、小八郎から続く  
台地から湧き出す水だそうです。

湧き水を水源とする美しい山堤



松川町のシンボル小八郎  
山堤近くからの眺め

台地は、約70万年前から始  
まった中央アルプスの隆起に  
よって形作られた小八郎から  
間水期の大雪や大雨などによつ

て土石流となつて形成された  
もので、先端は大栢、鶴部ま  
で伸びていて、上片桐の台地  
を形成しているのだそうです。  
そんな台地を案内していた  
だいた後に、山堤のそばに整  
備されているザゼン  
ソウの自生地を訪ね  
ました。

看板が設置された  
自生地に足を踏み入  
れると木道が設けら  
れ、草刈りなどの整  
備が地元の方々な  
よつて行われ大切に  
保護されているのが  
分かりました。案内  
をしていただいた木  
下さんによれば「飯  
田下伊那でも有数の  
規模で伊那谷では一  
番大きな群落ではな  
いか」とのことです



# まだまだ知らない

た。気軽に行ける距離なので皆さんにも早春にぜひ足を運んでいただきたい思います。



自生地には木道が整備されている



伊那谷最大のザゼンソウ群落

## 豊臣秀吉も愛した ヤマザクラ

ヤマザクラは、本来、関西系の桜で、秀吉が妻のおね(ねね)や、全国の大名を引き連れて京都の醍醐で花見をしたと

諏訪形のヤマザクラ 昨年11月13日に撮影したもの



伝えられている桜です。

特徴は、花と葉が同時に開く桜でソメイヨシノなどより1週間程遅れて開花する桜で、葉の裏に白い粉をつけています。



現地を案内していただいた木下進さん

かつては、伊那谷で見ることが出来なかつた桜を今では、



ヤマザクラは葉の裏が白いのが特徴

松川町でも観桜することができきます。諏訪形の秋葉神社の杜に2本、諏訪形神社南側の河川敷に数本、松川大橋の南側の袂に1本と町内各地で見ることができきます。

見たことのないヤマザクラを、鳥たちの働きや、先人達の様々な努力により今観桜できることに感謝しつつ、春先花見をするときに特徴を思い浮かべながら観桜すると、いつも見る桜もまた違った一面が見えてくるかもしれません。

上片桐駅から鶴部の信号機に通じる道路北側にコブシの大木が生えています。大栢のコブシは、現存するコブシの中では町最大のものです。松川町にもかかわらずは多く生えていましたが、年々数を減らしています。今回見た大栢のコブシには沢山の花芽がついていました。コブシは一番に春を告げる花です。来年の春には美しい純白の花を咲かせてくれることでしょう。

## 春一番を告げる コブシ



現存する中で町最大のコブシ(大栢)

今回も多くの自然を實際に目で見て感じる中で、自然が独自に受け継ぐものや、先人の知恵と努力によって今、私たちの生活の中で綺麗と感じられる自然が数多く残っていることを感じました。次回はいよいよ生田編です。

# 第28回 松川町駅伝大会

## 平成24年11月4日(日)



### 総合優勝 「北安松川中学校(男子)」



「松川」という同じ地名同士の駅伝を通じた交流が去年から始まり、今回で2回目の参加となりました。松川町教育委員会様をはじめ、松川町の方々には暖かいご支援をいただきました。駅伝だけではなく、温泉への招待をしていただき子どもたちにとって本当に楽しい思い出になったようです。来年もよろしくお願います。ありがとうございます。

（松川村立松川中学校 陸上競技部顧問 塚原健太さん）



今がさかりの柿の中を走り抜けます

### 一般男子の部 「皆ちがって皆いい」



1区 北林 誠さん  
「下りは苦手です」

2区 瀧澤幸広さん  
「アドバンテージをなくしてしまい申し訳なかった、最後の1kmがきつかった」

3区 清水陽治さん  
「一生懸命走れた、3回目の挑戦でした」

4区 松下 聡さん  
「年々えらくなってきたが、最後まで走り続けられた、来年も挑戦します」

5区 遠藤健二さん  
「1年に1回自分と向かい合える時間でした。子どもたちと一緒に走れてよかった」

6区 山崎哲矢さん  
「保護者の皆さんに誘っていただけて参加しました。参加できてよかったです」

## 大会の結果

平成24年11月4日(日) 午前9時10分スタート

総合優勝	北安松川中学校 (男子)	1時間08分00秒
------	--------------	-----------

### 【部門別】

	優勝	準優勝	第3位
一般男子	松陸コーチ軍団 1時間08分04秒	日の出ランナーズ 1時間14分08秒	松陸おやじ~ず 1時間17分23秒
一般女子	松陸美女軍団 1時間36分15秒	松陸ママさんず~ 1時間42分00秒	天によじ登るおっ母ず 1時間44分05秒
中学生男子	北安松川中学校 (男子) 1時間08分00秒	松川中陸上部 1時間09分34秒	暴走天使 1時間18分32秒
中学生女子	松川中陸上部 1時間20分01秒	北安松川中学校 (女子) 1時間24分32秒	松中バボちゃんズ 1時間24分38秒
小学生男子	松陸アスリートボーイズ 1時間15分52秒	スマイルサッカー 1時間20分03秒	バドレンジャー 男子 1時間24分56秒
小学生女子	松陸アスリートレディース 1時間24分12秒	松陸アスリートガール 1時間25分05秒	ソフトテニスクラブ 1時間27分20秒

5 問題  
考える  
みんな  
で  
権考  
人  
を  
仲  
良  
く

友達のためにできる事

松川中2年 片桐優奈

今、「いじめ」問題がすごい  
と思います。ニュースなどで  
放送されたように、いじめら  
れて自殺してしまう子が増え  
ています。「いじめ」はすく  
いけない事だけど、すごく小  
さな事でも発展していくと思  
います。

学校の道徳の授業の資料で  
は、「自分がいじめの標的にさ  
れるのがこわいから、一緒に  
なつていじめてしまう。」と書  
いてありました。私も、もし  
いじめられていた子がいたら、  
そういう気持ちになると思  
います。でも、一緒にやつてし  
うことはダメだと思います。人  
に左右される人じゃなくて、  
自分で判断できるようになれば、  
いじめられていた子を手助け  
れると思います。学校生活の  
中では、少しけんかしてしまっ  
ただけで、「ムシ」「仲間外し」  
などをしている人がいます。こ  
う言う行動も全て「いじめ」に  
発展すると思います。いじめ  
ている子は楽しいと思うけど、  
いじめられていた子はすく  
つらいと思います。もしその  
いじめの事を親が知ったらす  
ごく悲しくなります。私たち  
の学校にも、「いじめ」はある  
と思います。いじめられてし  
まったせいで学校に行けない

友達もいると思います。みん  
なが意識していけば「いじめ」  
はなくなると思っています。

このことを踏まえて、「今、  
私が友達のために何ができる  
のか」を考えました。それは、  
仲良しグループの人だけと仲  
良くするのはなく、たくさ  
んの人と仲良くし、関わりを  
持つ事だと思えます。私は、  
休み時間などは仲良しグルー  
プの人ばかりと遊んでいます。  
でもそれは仲良しグループの  
人と仲良くなるだけで周りの  
人とは仲良くなれません。な  
ので、しっかりとたくさんの人  
と関わりを持ち、仲良くなり  
たいです。あと、友達にはつ  
ねに「優しく」「笑顔で」を心  
がけて生活をしていきたいで  
す。もう一つは、いじめられ  
ている子がいたら「助けてあ  
げれる人」になりたいです。も  
しいじめられていた子がいた  
ら見て見ぬふりをするんじゃ  
なくて、「大丈夫？」などの声  
をかけたり、「一緒に遊ぼう」  
などと声をかけられる人にな  
りたいです。そうすればいじめ  
られていた子もすくうれいし  
かられます。お母さんとかに  
「友達を大切に」と言われます。  
しっかりとその言葉を胸に刻ん  
でいきたいです。このことは、  
口で言うのは簡単だけど、実  
際に難しいと思います。でも  
つねに、「私が友達のために何  
ができるのか」を考えて生活  
していきたいです。あたり前  
の事だけど、感謝の気持ちな  
どもしっかりと意識してこれか  
らの生活に生かしていきたい

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

(その十四)

ふるさと探検シリーズ2  
「小渋ダム排砂トンネルと中央構造線」

私たちの身の周りには普段  
目にできない場所や見えてい  
ても意味が分からなくて、た  
だ見過ごしている場所がたく  
さんあります。今回は真夏の  
8月1日に町内在住の木下進  
先生に講師をお願いして、地  
面に覆われた地中の様子や地  
球の歴史を伺うことができる  
岩石や地層の見学に出かけま  
した。

小渋ダム排砂トンネル

南アルプスを源とする小渋  
川は生田地籍で小渋ダムによ  
つてせき止められ、治山治水だ  
けでなく発電や農業用水とし  
て私たちの役に立っています。  
しかし、いったん大雨が降る  
と、上流から運ばれてきた大  
量の土砂はダム湖にどんどん  
たままってダム湖は浅くなり、  
貯水量が減ってダムの機能は  
だんだん低下してしまいます。  
そこで、小渋ダムでは大量に  
土砂を含んだ洪水時の濁流を、



上流から直  
接ダム下流  
へ流すこと  
ができる排  
砂トンネル  
(バイパス  
トンネル)を  
建設すること

になり、現在その工事が進め  
られています。

私たちは町のバスで現地へ  
出かけ、副所長さんよりダム  
の話をお聞きしたり工事の中  
トンネル内部を見学したりし  
てきました。そのトンネルは  
大型バスが往来できるほど広  
いばかりでなく、馬原山の地  
中に約4kmもの長さで掘られ  
ていることに驚きました。ま  
た、トンネル内部が涼しかつ  
たことや中で拾った石(花崗岩)  
がとてもきれいだつたことに  
も感動した小渋ダムの見学で  
した。大水が出たときに濁流  
がそこへ流れ込んでいく様子  
を見たいと思つたのは私だけ  
だつたのでしょうか。

中央構造線博物館と  
露頭見学

わたしたちが次に向かつた  
のは、大鹿村にある中央構造  
線博物館です。ここには日本  
列島の中央を走っている断層

(中央構造線のジオラマや岩  
石の標本、資料等を見学しな  
がら、学芸員の河本さんから  
詳しい話をお聞きしました。日  
本列島が現在の形になるまで  
の地下の歴史がいろいろな岩  
石や地層によって分かること  
など大変興味深く見学するこ  
とができました。参加者の中  
には地震との関係について興  
味をもたれた方もおられまし  
た。

その後、私たちは青木川上  
流の中央構造線の様子がよく  
分かる「安康露頭」へ行きま  
した。ここでは木下先生のお  
話を聞きながら断層の観察を  
したり岩石を拾ったりして、  
中央構造線を直接肌で感じて  
きました。断層内の岩石が圧  
力に変性している様子や、構  
造線の内側と外側では岩石の  
色や重さ・形が違うことがよ  
く分かりました。帰りにはめ  
いめい印象に残つた石をいく  
つか拾って帰ってきました。



# 落ち葉舞う中、スポーツ

## 第8回北関東 ブロックジュニア 武術太極拳大会

9月22日(土)群馬県高崎市にて第8回北関東ブロックジュニア武術太極拳大会が行われました。

結果は次のとおりです。

- 女子初級長器械(棍術)の部
- 2位 古林みなみ (松川中1年)

## 第21回長野県武術 太極拳選手権大会

10月7日(日)長野市にて第21回長野県武術太極拳選手権大会が行われました。結果は次のとおりです。

- 男子入門長拳
- 優秀賞 宮下 巡 (中央小5年)

- 女子入門長拳
- 1位 松前 桃子 (松川中1年)
- 2位 竹下 千里 (中央小6年)

- 女子初級長拳
- 1位 林 幸恵 (松川中1年)

- 3位 上片桐球友

- 2位 古林みなみ (松川中1年)

女子長拳B

- 優秀賞 木下 瑞穂 (松川中2年)

女子初級短器械(剣術)

- 優秀賞 宮下 友希 (松川中1年)

- 1位 猪狩 智未 (松川中3年)
- 2位 林 幸恵 (松川中1年)
- 3位 古林みなみ (松川中1年)

- 女子短器械B
- 優秀賞 木下 瑞穂 (松川中2年)

- 3位 古林みなみ (松川中1年)

平成24年度松川町壮年ソフトボールリーグ

平成24年度松川町壮年ソフトボールリーグの閉会式が11月1日(木)に行われました。

結果は次のとおり

- 優勝 城山クラブ
- 準優勝 スターキング

- 3位 上片桐球友

優勝 城山クラブ

準優勝 スターキング

3位 上片桐球友

## 平成24年度 松川町夜間 ソフトボールリーグ

平成24年度松川町夜間ソフトボールリーグの閉会式が10月11日(木)に行われました。

結果は次のとおり。

- Aリーグ
- 優勝 北垣外クラブ
- 準優勝 堤原バズーカ
- 3位 大栢

Bリーグ

- 優勝 諏訪形
- 準優勝 増野
- 3位 中荒町

## 第6回南信州 アルプスマつかわ ロードレース大会

10月14日(日)第6回南信州アルプスマつかわロードレース大会が行われました。町内の方の結果は次のとおり。

- 10km 40歳代女性の部
- 6位 鈴木紀美江
- 5km 60歳以上男性の部
- 2位 清水 悟
- 5km 40歳代女性の部
- 3位 酒井 秀子
- 5km 50歳代女性の部
- 6位 小林よし子

- 3km 小学生男子の部
- 5位 中原 峻
- 3km 小学生女子の部
- 6位 小山 美月

## 松川町オープン ミックス バドミントン大会

10月21日(日)松川町町民体育館にて松川町オープンミックスバドミントン大会が行われました。結果は次のとおり

- 松の部
- 優勝 渡辺 幸治
- 前沢沙綾香

- 準優勝 佐々木章吾
- 佐々木美聡

- 川の部
- (ジョイフルB・C)
- 優勝 中村 彰彦
- 保科 美晴

- 準優勝 池上 幸紀
- 相津 知子

- 町の部
- (多摩川精機B・C)
- 優勝 二村 和久
- 二村 佳子

- 準優勝 松上 勇
- 久保田佳代

- 準優勝 松上 勇
- 久保田佳代

- 準優勝 松上 勇
- 久保田佳代

- 準優勝 松上 勇
- 久保田佳代

- 準優勝 松上 勇
- 久保田佳代

- 準優勝 松上 勇
- 久保田佳代

## 秋のこども学習旅行

期 日 11月25日(日) 中央公民館駐車場  
午前8時出発 午後5時着

行き先 博物館明治村 愛知県犬山市

費用 世帯 子ども1人目3000円、2人目から1800円

保護者は入館料(大人)1600円のみ負担

申し込み締切 11月24日(土)



## フィギュアスケート教室

期 日 12月16日(日)、23日(日) 中央公民館駐車場  
午前8時出発 午後5時着

行き先 クリスタルパーク恵那、岡谷やまびこの森アイスアリーナ

費用 世帯 子ども1人目3500円、2人目から2500円

申し込み締切 12月12日(水)



お問い合わせ 松川町少年少女体操・スポーツ総合クラブ 代表 川又 一郎  
申 込 先 携帯090-4460-5728 fax兼用電話36-5728

# 鋤柄郁夫さん 全国短歌フォーラム最優秀賞

## 【受賞作品】

止まる馬

逸れる馬あり

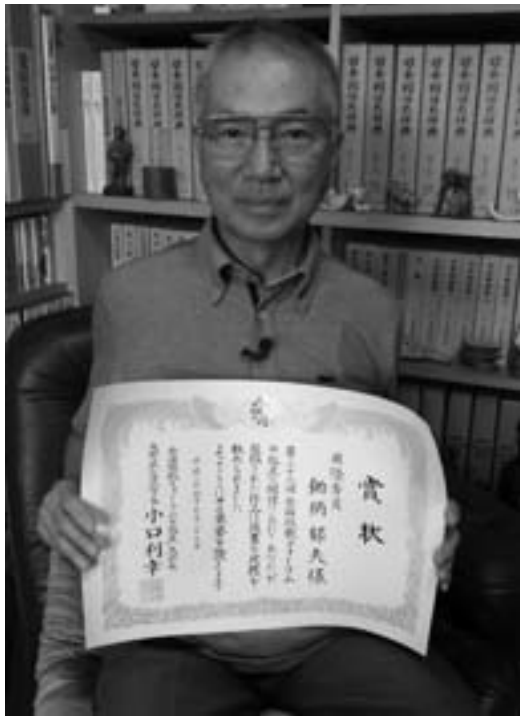
草競馬

馬にも意地の

あるぞ嬉しき

宮坂の鋤柄郁夫さんが詠まれたこの短歌は、塩尻市の高ポツチ高原で見た草競馬を題材にしたものです。

この作品が、第26回全国短歌フォーラム(9月29日・塩尻市)で最優秀賞を受賞しました。



受賞の喜びを語る鋤柄郁夫さん

数年前、友人と見た高ポツチ高原の草競馬。途中で止まる馬、逸れる馬、逆戻りする馬など、おもしろおかしく、はじめは「滑稽な競馬だなあ」と思ったそうです。しかし、そんな馬の様子を見て、自分の人生を振り返ってみると、「自分は慣習やしがらみ、枠の中に収まった人生を歩んできた」と感じたそうです。そして草競馬の馬たちと自分とを対比させ、自由奔放な馬に「生きている意志があつてすばらしい」と思い、この歌を詠まれました。

全国短歌フォーラムは、昔から著名な歌人を生み出してきた。

た塩尻市が町おこしとして始めたもので毎年全国から作品が集まります。今年は、題材が決められた「題詠歌」に1588人。「自由歌」に1427人。合わせて3015人から応募がありました。今回の題詠歌は「馬」が題材で、鋤柄さんは題詠歌に応募されました。そして、題詠歌と自由歌の両方合わせた中の最優秀賞を受賞されました。

鋤柄さんは俳句クラブに所属し活動をされていますが、短歌はほぼ独学で詠まれてきたそうです。受賞が決まったときには今回の題材のようにまさに馬に乗って空を駆け巡っている気分だったといいます。

選者は日本を代表する歌人で、岡野弘彦さん、馬場あき子さん、佐佐木幸綱さんの3人です。この3人の選者によって最優秀賞に選ばれたことも「権威と幸せを感じている」と喜びを表していました。

今年の9月で後期高齢者となり複雑な心境もあったという鋤柄さん。しかし「大きな賞をもらって元気が出た。これからは短歌や俳句を通じて言葉をみがき、心をみがき、一日一唱の気持ちで生きていきたい」と笑顔でお話されていました。



## いなかり

中央小1年 福沢仁成

田んぼで

いなかりの

おてつだいをしたよ

おいさんとおはあさんか

はさをかけました

ほくがいねたばをとつて

わたしてあげた

ほくが田つえしだいねも

いつばいみになつて

うれしかつた

きつと、あまくておいしいあじがするよ

## おがあさんのおてつだ

中央小1年 ほん田まなか

あさ、おきてから

いもつとたちの

めんどうをみたよ。

あさごはんを

たへさせてあげて

そのあと

おきがえもしてあげた。

いもつとたちは

なかなかたへてくれなくて

たいへんで つかれた。

おてつだいをしたら

おがあさんのきもちが

よくわかつたよ。

## 俳句

秋の空

矢沢 さち子(東浦)

秋の空碧いキャンパス雲描く

流れ星とつきに願いの遅れけり

店頭に蝗の跳ねて客を呼ぶ

庭先に猫の転がる秋日和

台風禍ねぎらい回るりんご園

## 短歌

中平 恵子(郷原)

雷鳴の音を東に聞きながら鎌  
を持つ手を早め草刈る

孫等来て賑わいし夏も東の間  
にとりのこされし風鈴は鳴る

秋祭り氏子等が集う境内に投  
餅拾う手と手が踊る

テレビよりへ母のうたの流れ  
きてわたしの「かあさん」と重  
なりてきぬ

それぞれのドラマ抱き沈黙の  
バスは近づく終点新宿



まちの石仏 ⑳

「蚕玉さま(5)ネズミ尾」(中山)

茨城県の蚕影神社から分祀した蚕玉様。



東北支援・芸能ボランティア

# 東松島市野蒜復興祭



「和楽座」友情出演

部奈を拠点とする「和楽座」(座長・伊藤頼人、座員20名)は10月20日、宮城県東松島市野蒜の復興祭に芸能ボランティアとして友情出演し、1時間20分の公演を行いました。

日本三景松島の東、太平洋に面した野蒜地区は4800人ほどの住宅街でしたが大津波によって住民の1割を超える500

余人が犠牲となり、現在は3000人ほどが過酷な仮設住宅での生活を余儀なくされています。

野蒜まちづくり協議会および野蒜市民センターが企画する第三回「野蒜復興祭」は、被災し廃校となる野蒜小学校校庭に仮設された特設ステージで開催され、被災後ちりぢりになった皆さんが手を取り合い再会を喜びあっていました。開演に先立ち深津徹松川町長のメッセージを代読、松川町民が復興を願って折った千羽鶴が贈呈されました。

主旨に賛同し同行した部奈神楽保存会による獅子舞「悪魔払い」と、和楽座の伊勢音頭による「壁塗り」で当地の一日も早い復興を祈念し、この地を「塗り固め」ました。お神酒として部奈の酒を振舞い、歌・踊り等を披露しました。



この地区「野蒜」を再生していく野蒜小学校児童による復興太鼓。そのひたむきさ、力強さに涙があふれる。

に「生き抜く勇氣」を与えてくれました。ある方は、「有名人はほとんど来ないが、皆さんはよく遠くから来ていただけだ。」と、心から喜んでくれました。被災された皆さんに、ほんの一時でも安らぎを感じてもらいたい、笑顔になっていただけたいと思いました。

この事業には和楽座・部奈神楽保存会と公演応援団計28名が大型バスをチャーターして参加、音響機材・装備等全て持ち込み、経費等自己負担、自己完結の形で行っています。

## ◎◎◎◎◎

部屋の中を一匹のハエが飛んでいると必ず夫婦の意見が分かれる。妻「一刻も早く叩かないと」自分「ハエも一生懸命飛んでいるのだから、そのままにしておけば出ていくよ」

最近2歳半になる長男は、どうも妻に似たらしい。飛んでいるハエを見つけるとハエたたきではなく、うちわを両手に持ってハエに戦いを挑んでいる。

日常生活を送っていればハエひとつとっても意見が分かれるのだから、意見の違いを考え出したらきりがない。ただ食い違った意見でも子どもに受け継がれるかと思うと何とも言えない不思議な気持ちになる。成長の過程で、1つ1つの違った性格がいろいろ混ざり合っ

て1つの人格が出来上がっていくのを考えると子どもと接する時間を大切にしたいと思った。年末に向けて忙しいとなかなか子どもと接する時間も短くなってきてしまいがちだけれど、時間の長さではなく、密度の濃い時を一緒に過ごして自分の性格の一つでも多く受け継いでくれたらそれはそれで面白いと思う。

大東 洋文

公民館報  
「まっかわ」  
第 589 号  
平成24年11月15日

発行所 松川町公民館  
責任者 矢澤 登  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)